

経済建設常任委員会

行政視察報告

7月11日から13日までの日程で、兵庫県西脇市の「企業立地支援とデータセンター誘致」について、山口県周南市の「道の駅ソレーネ周南の運営」について行政視察を行いました。

西脇市は、平野が少なく70%以上が山や農村地域が広がる町です。製品出荷額も近隣他市に比べ少なく企業誘致は喫緊の課題でした。

トップセールスに力を入れ市長が就任した平成25年以降、20社立地し新設が13社で雇用者数も287人と成果もあがっています。課題は、土地の確保であり、産業用地整備調査を実施し、企業要望に沿った用地確保に苦労しています。

また、経産省のデータセンター誘致も進め、南海トラフ地震に強い岩盤をアピールし積極的に誘致を進めています。

本市も災害リスクの少なさをPRしトップセールスで企業誘致を目指す点で参考になりました。

周南市道の駅ソレーネは、平成26年に防災機能も備えオープンし、国交省が6億円、市が13億円総事業費19億円で建設されました。

道の駅内には、高齢者等の相談窓口や地域住民への生活サポート体制の構築、宅配業者と連携し周南市全域の集荷支援、買い物弱者への移動販売で周南市全域による地産地消、高齢者の生活を支援しています。高速道路ICからも至近距離にあり本市の道の駅建設においても大変参考になりました。



道の駅ソレーネ周南の運営について
(周南市)

10月6日にオープンしたケルナー広場 (あんなかスマイルパーク)

あんなかスマイルパーク

